

各位

病害虫防除所長

平成21年度病害虫発生予察技術情報資料(第1号)の送付について

早期稲のアザミウマ類発生状況調査の結果について

高知県内の水稲(早期稲)において6月下旬に実施したアザミウマ類のすくい取り(10回振り)調査結果について資料を送付しますので、防除指導の参考にしてください。

なお、成虫と幼虫の合計で「100頭/10回振り」がアザミウマ類の要防除密度となっております。

記

アザミウマ類発生状況の概要(6月下旬時)

本年のアザミウマ類の発生状況は、下表のとおり全般的には平年並の発生となっております。地域別では県東部で平年並の発生、中央部はやや少発生、中西部は少発生、県西部では多発生となっております。

なお、発生密度については要防除密度の100頭(捕虫網10回振りあたり)を超える圃場(別紙参照)はありませんでした。

例年、黒点症状米の発生が多い地区や箱施用剤を使用していないほ場では、出穂前に防除を行わないとアザミウマ類の加害により品質低下を招くおそれがありますので、出穂直前の密度を低下させるなどの防除指導の徹底をお願いします。

表：平成21年6月のアザミウマ類発生面積(ha)

発生面積 地域	アザミウマ類	
	本年	平年
東部	330.8	301.9
中央部	961.7	1,470.8
中西部	117.8	285.7
西部	1,242.6	696.6
計	2,652.9	2,755.0

栽培面積 東部 795ha 中央部 3,497ha 中西部 1,523ha 西部 2,209ha 合計 8,033ha

